

【正解と解説】昭和の名セリフ・流行語 5問版 No. 30

※ 正しいフレーズと、懐かしい時代背景・エピソードの詳しい解説です。

第 1 問 正解：【 豚の蚊遣り 】 （読み：ぶたのかやり）

名フレーズ：蚊取り線香に火をつけて【 豚の蚊遣り 】に入れる。

【解説】 陶器で作られた豚の形の蚊遣り器は、昭和の日本の夏の風物詩として長く愛されました。

第 2 問 正解：【 西瓜（すいか） 】 （読み：すいか）

名フレーズ：縁側で冷えた【 西瓜（すいか） 】にかぶりつく夏の午後。

【解説】 井戸水や氷水で冷やした甘いスイカに塩を少し振って食べる、昭和の懐かしい夏の原風景です。

第 3 問 正解：【 型抜き 】 （読み：かたぬき）

名フレーズ：紙芝居屋さんが来ると、水あめや【 型抜き 】を買って集まった。

【解説】 拍子木の音とともに自転車でやってくる紙芝居屋さんは、昭和の子どもたちの一番の娯楽でした。

第 4 問 正解：【 買い物かご 】 （読み：かいものかご）

名フレーズ：商店街の八百屋さんや魚屋さんで【 買い物かご 】を持ってお買い物。

【解説】 ビニール袋ではなく、竹やプラスチックで編んだマイ買い物かごを持って市場へ通いました。

第 5 問 正解：【 湯たんぽ 】 （読み：ゆたんぽ）

名フレーズ：冬の夜は【 湯たんぽ 】を布団の足元に入れて温まった。

【解説】 トタンやブリキ製の湯たんぽにお湯を入れ、専用の布袋に包んで寝床を温めた知恵と温もりです。